

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Linkerミーム			
○保護者評価実施期間	2025年 11月 10日 ～ 2025年 12月 19日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日 ～ 2025年 12月 19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	療育の質の高さ	発達水準に合わせて集団を形成し、重度、軽度関係なく、1人ひとりのお子様が「今」持っている能力を最大限に引き出し、活用できるように支援している。	1人ひとりに合わせた今必要な対応を知るためにスタッフが専門的な観察や評価ができるよう学び続けること。社会参加に向けて道筋を立てながら療育を行うことが更なる充実に繋がると考える。
2	未就学の時から18歳まで、連続した計画的な支援を行う。	当事業所は短期的な支援ではなく、長期的な支援を念頭に置きながらお子様に関わらせていただいている。意図的な集団を作り、何らかの理由で幼稚園や学校で経験できなかった事を当事業所で経験し、そこから生まれる喜怒哀楽を感じながら、その時にできる適切な行動を学べるように支援している。	現在行っている幼稚園や学校の訪問支援をさらに強化し、日常的な連携を今まで以上に深めて、社会参加に繋げていければと思っている。
3	軽度、重度関係なく、卒業後（社会に出る時）の支援まで考えている。	社会に出た時の事を幼少期から逆算し、その時々にはできることを考え、丁寧に支援している。ただ小集団を作るのではなく、コミュニケーションとはなにか、どのようにすれば自発的に集団を形成するのかを考えて、自由の中で着実に成長していけるようにしている。	幼少期から保護者様と協力し、丁寧に育ててきた児童が社会で崩れないように、サポートできる仕組みを準備中。また児童同士で集まれる場所作りも計画。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	西宮市全域（北部を除く）に送迎に出ているので、送迎希望者が多く、ご希望に沿えない事がある。	自動車の台数が制限されている中、運転できるスタッフの数も限られている。送迎を希望される保護者様が年々増えている印象があるため、ご見学時の段階で送迎の状況を確認し、送迎が無理な場合のお申し込みの有無を確認しておく。	送迎担当のドライバーさんは在籍しているが、その数を増やす事を検討したり、運転が出来るスタッフを増やすための求人をしっかり行っていく。
2	療育をメインにしている多機能型なので、事務をする時間が少ない。	児童が来所していない時間が限られているため、事務に回す時間の計画性が必要になる。なるべく残業ではなく、業務時間内に作成しないといけない書類や記録は完成できるようにする。	業務の効率化を図るためシステムを上手く利用し、短い時間に事務作業を進めていけるようにしていく。
3	多機能型なので、午前は9時から13時、午後は15時から18時の療育となっており、長期休みもこの時間は変わらないので、一日利用を希望される保護者様にはご不便をおかけしている。	午前中のお子様は長期休暇でも普段と変わらないが、就学児になると午前中は家庭で過ごす事が多く、場合によっては長期休暇の過ごし方をアドバイスすることもある。	短時間でも質の高い療育を提供することにより、「毎週しっかり通わせたい」と思っていたけようなサービスを提供していく。